

福田半香筆（静岡県指定文化財）「浅絳山水図」天保八年（1837）



福田半香筆「蘭亭曲水図」天保十年（1840）



渡辺華山筆「蘆汀双鴨図」文化十三年（1816）



椿華谷筆「花卉図」江戸時代後期



田原市博物館は、ゆかりの渡辺華山をはじめとする関東文人画を中心にした常設展示を展開するほか「渡辺華山とその師友展」「椿山展」「谷文晁展」「富岡鉄斎展」などを開催してまいりました。

今回は、静岡県菊川町にある常葉美術館が所蔵するコレクションの中から、渡辺華山、谷文晁、椿椿山などの作品と、華山の弟子から遠州ゆかりの画人を中心に、福田半香、平井顕斎、永村茜山らの作品40点を展覧しま

す。地域に根付いた華山影響下の作家たちの息吹きを感じられる展覧会となります。

開館以来25年を過ぎて、静岡以西で公開される初の企画です。華山ゆかりの愛知県田原市でその充実したコレクションを、ご覧ください。

◆おもな出品作品

渡辺華山「西王母図」「蘆汀双鴨図」「毛武游記図卷」「富峰驟雨図」「谷文晁「秋景山水図」、椿山「歳寒徳品図」、福田半香「浅絳山水図」「静岡県指定文化財）、平井顕斎「楼閣山水図」、永村茜山「人物愛馬図」、椿華谷「花卉図」など

◆常葉美術館

常葉美術館は、常葉短期大学と菊川高校の美術・デザイン科開設5周年を記念して、菊川キャンパス内に昭和52年6月、開館しました。美術館の活動は、美術・デザインを学ぶ学生・生徒だけでなく、広く一般市民の方々にも美術を鑑賞する機会となるように努めています。

展覧会は、春と秋には日本と西洋の質の高い美術品の鑑賞する機会となるように配慮して開催してきています。また、近年は常葉学園大学の造形学部の開設にともない、新しい造形表現の分野の紹介にも努めてきています。

所蔵品は、常葉学園長木宮和彦氏および初代名誉館長故菅沼貞三氏により25年にわたって収集されてきたもので、江戸時代の南画家・渡辺華山とその弟子の作品、静岡県ゆかりの洋画家・曾宮念の作品などがあります。また、静岡県内の現代作家の展覧会を開催し、優秀作品を収集しています。

**企画展展示解説** 田原市博物館学芸員  
 10月10日(日)・10月31日(日) 午前11時  
 ※展示解説に参加希望の方は観覧料が必要になります。

**今回の企画展の図録**  
 (オールカラー、無線綴じ) 価格税込 一八〇〇円)を販売します。常葉美術館が所蔵する椿椿系文人画コレクションの図版が数多く掲載されています。この機会にぜひお買い求めください。